

産業建設  
常任委員会

委員長 藍原 章

議第89号 高島市下水道条例  
の一部を改正する条例案

令和6年1月発生のがん登半島地震において、多くの家屋で排水設備等が破損したことや、指定工事店自身も被災したことにより、排水設備等の復旧が遅れることとなったことを踏まえ、災害その他非常の場合において、他の市町村長等の指定を受けた者が排水設備の工事を行うことができるよう、所要の改正を行うもの。

## 採決の結果

「賛成全員」で「可決すべきもの」と決定しました。

この他、付託された8議案について、「賛成全員」で「可決すべきもの」と決定しました。



10/15・16

## 産業建設常任委員会 行政視察報告

10月15日は愛知県豊橋市において、「豊橋市バイオマス資源利活用施設整備・運営事業について」をテーマに行政視察調査を行いました。

豊橋市バイオマス利活用センターでは、下水汚泥、し尿や浄化槽汚泥に加え、生ごみを資源として回収し、これらバイオマスを活用したメタンガス生成による発電と炭化燃料への加工を行ってられます。この事業のメリットである「温室ガスの削減効果」や「年間約6億円と試算されている汚泥・生ごみの処理費用の削減効果」を市民に丁寧に説明し、協力を求めてこられた結果、再生エネルギーやごみ減量に対する市民の関心も高まり、スムーズにこの事業が運営できているということでした。高島市では県の下水処理施設で汚泥の肥料化にも取り組んでいることから、市単独ではなく、広域的な視点で県や近隣自治体と連携した取組みを研究する価値はあるように思いました。

16日は岐阜県恵那市において、「発酵のまちづくりについて」をテーマに行政視察調査を行いました。

恵那市では、「発酵の学校」という発酵食品ソムリエを育成する事業を継続して実施されており、このソムリエの方々が中心となり、学校や地域における発酵文化の普及啓発活動、伝承活動、イベントにおける発酵文化の魅力発信にも取り組んでおられるところです。

高島市も、恵那市など発酵をまちづくりのテーマに取り組まれている自治体と交流することで、新たな事業展開や地域間交流なども期待できるのではないかと感じたところです。両市の取り組みを参考にし、当委員会として市の政策に活かしていけるよう調査・研究していきたいと考えます。



愛知県豊橋市視察



岐阜県恵那市視察

10/16・17

## 文教福祉常任委員会 行政視察報告

10月16日は岡山県真庭市において、「公立図書館の取組みについて」をテーマに行政視察調査を行いました。

真庭市では、図書館を「知と自治の拠点」と位置づけ、様々な図書館施策が行われています。公立図書館と学校図書館のネットワーク化や、市民、高校生、司書、行政職員などが対話を重ね、運営方針や新しいサービスを共に考える仕組みを確立されていました。図書館を単なる読書施設ではなく、地域の学び、自治、財源多様化を支える中核として位置づけ、市民参画を制度化している点が印象的であり、本市においても図書館や市民協働交流センターなどを核に、市民協働や若者参画を推進することで、地域に根ざした「共創のまちづくり」を進める余地が大きいと感じました。

17日は鳥取県南部町において、「コミュニティスクールについて」をテーマに行政視察調査を行いました。南部町では、町内全ての学校で運用し、学校・家庭・地域が一体となって教育を支える仕組みを整えられています。「まち未来科」による年長から中学3年生までの10年

カリキュラムの実践や、高校生サークル「With you 翼」や新青年団「へん to つくり」を立ち上げ、地域に還元する存在として活動されています。このように保育園から社会人までの取り組みを循環させることで、人口動態では社会増に転じており、一定の成果を上げていると考えられます。高校卒業後の若者流出の多い本市にあっては、高校生から青年期の若者を地域社会の当事者として活躍できる機会の創出など、義務教育以降の社会教育事業の充実が重要だと感じました。

両市の取り組みを参考にし、当委員会として市の政策に活かしていけるよう調査・研究していきたいと考えます。



岡山県真庭市視察



鳥取県南部町視察